

立教大学学術推進特別重点資金(立教SFR)

国際会議助成

2016年度研究成果報告書(A, B, C)

1. 会議概要

会 議 名	和文	中世の教皇：統治、コミュニケーション、文化交流			
	欧文	Medieval Papacy: Governance, Communication, Cultural Exchange			
主 催	立教大学文学部史学科				
共 催	科研費基盤B「中世盛期教皇庁の統治戦略とヨーロッパ像の転換」				
後 援	立教SFR「グローバルヒストリーのなかの近代歴史学」				
開催責任者	所属	文学部史学科			
	氏名	小澤 実	印		
運営事務局	事務担当者	文学部史学科			
	氏名	小澤 実			
開催期間	2017年 2月 17日 から 2017年 2月 19日まで				
開催場所	立教大学池袋キャンパス1号館1104ならびに5号館第1・第2会議室				
参加者数 ※1	学内	5名 (うち1名はイタリア)			
	学外 国内から招聘	5名	海外から招聘	4名 2カ国	
	合計	14名 4カ国			
公開講演会等 参加者数※2	①	2017年 2月 17日 30名 1カ国			
	②	2017年 2月 18-19日 それぞれ20名 1カ国			
開催日程		午前	午後	夜	
	第1日 2月17日			講演：Harald Müller 司会：池上俊一	
	第2日 2月18日	報告1：菊地重仁 報告2：小澤実 報告3：Jessika Nowak	報告4：Georg Strack 報告5：赤江雄一 報告6：阿部善彦		
	第3日 2月19日	報告7：成川岳大 報告8：Thomas Smith 報告9：草生久嗣	報告10：村田光司 報告11：藤崎衛 報告12：Alessandro Simbeni		
※3	開催経費総額(C)	予算額	2229千円	執行額	2062千円
	助成申請外資金総額(B)	予算額	400千円	執行額	296千円
	立教SFR助成額(A)	予算額	1829千円	執行額	1766千円

※1 参加者とは、会議において講演、パネラー、コメンテーター等の活動を伴う者をいう。

※2 一般公開された講演会等に聴講の為に参加した者。講演者、パネラー等は除く。参加者名簿を添付すること。

※3 (A)(B)(C)の金額は、様式5の金額と合わせる。

2. 会議開催趣旨概要

2017年2月17日から19日にかけて、13人の報告者による国際会議 Medieval Papacy: Governance, Communication, Cultural Exchange が開催された。会議は17日のハラルド・ミュラー教授による Keynote Speech にはじまり、18日に Session 1: Papacy and its Political Communication と Session 2: Papacy and Intellectuals、19日に Session 3: Papacy and Religious Identity と Session 4: Papacy, the East and Asia において、各セッション3名の報告を得た。最後に、ハラルド・ミュラー教授による総括コメントがなされ、会議は無事終了した。

3. 会議の成果概要・今後の展望等

会議の開催に際しては、日本側代表の小澤と海外側代表の Georg Strack 博士との間で、1年間ちかくに渡り、テーマ設定・報告者選定・配分時間などについて、メールで綿密な打ち合わせがなされた。会議では、報告者全員が英文原稿を事前に提出し、当日配布することによって、参加者による質疑往々が容易となるようにした。一人当たりの質疑応答時間は15分程度であったが、報告者ならびに専門性の高い参加者の討議により有意義な意見交換が行われた。報告ならびに討論共にすべて英語で行われた。

現在、本会議での報告原稿と意見交換を元に Georg Strack, Thomas Smith, Minoru Ozawa の共編著として論集を準備中である。教皇庁における Communication という共通テーマの元に、より緊密に相互連関を持つ論集として、2年以内に Brepols その他の学術出版社での刊行が可能となるように現在交渉している。また、開催責任者の小澤を含む報告者の一部は、今回招聘した海外研究者がヨーロッパで行う国際会議での出席報告や論集への寄稿をすでに求められている。これらは、今回の国際会議が、国際的な共同研究ならびに教皇庁研究へ貢献を促した結果であると言える。

4. 会議の構成

(1) 学内参加者

氏名	所属・職名	会議における活動	内訳(学部・研究科)
小澤 実	文学部・准教授	報告・司会	文学部 4 名 キリスト教学研究科 1 名 その他 () <hr/> 計 5 名
阿部善彦	文学部・准教授	報告	
Alessandro Simbeni	キリスト教学研究 科・研究員	報告	
成川岳大	文学部・兼任講師	報告	
藤崎衛	文学部・兼任講師	報告	
変更内容(氏名、不参加/追加の別)			

(2) 学外参加者(国内、国外)

氏名	国名・所属・職名	会議における活動	内 訳
Harald Müller	ドイツ・アーヘン工科 大学・教授	報告	国名 人数 ドイツ 3 名 イギリス 1 名 日本 5 名 <hr/> 計 3 カ国 9 名
Georg Strack	ドイツ・ミュンヘン大 学・助教	報告・司会	
Jessika Nowak	ドイツ・マックスプラ ンク研究所・研究員	報告・司会	
Thomas Smith	アイルランド・ダブリ ントリニティカレッ ジ・助教	報告	
池上俊一	東京大学・教授	司会	
赤江雄一	慶應義塾大学・准教授	報告	
草生久嗣	大阪市立大学・准教授	報告	
菊地重仁	青山学院大学・准教授	報告・司会	
村田光司	日本学術振興会・特別 研究員	報告	
変更内容(氏名、不参加/追加の別) なし			